

いつも いないところへ たびするきぶんだった



《生まれたばかりの ぼくのギターの音は どこかとおくの家族のにおいがする》2024年©Arai Ryoji

日本人として初めてアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞するなど、世界的な評価を受ける荒井良二（1956年- /山形県生まれ）。彼の幅広い活動は、絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまで及びます。本展は、荒井の「これまで」と「これから」を語る作品たちを、荒井自身が再構成したものです。ここからまた新しい荒井良二が誕生する展覧会を、ぜひ一緒に体感しましょう。

時 4月20日(土)～6月15日(土)

休館日 月曜（4月29日・5月6日は開館）、5月7日(火)

開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）

場 美術館 ￥ 1,100円（学生800円） ※中学生以下無料

※身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者および付き添い者（1人）は無料。入館の際に手帳を提示してください（ミライID可）。

問 美術館（☎23-1636）ID 1010156

new born 荒井良二

企画展
「new born
荒井良二」
入場料

100円引券

※1枚につき2人まで
※他の割引との併用不可
※コピー不可

左上から、『あさになったのでまどをあけますよ』原画 2011年 偕成社、《絵の中のぼくとぼくの中の絵》2023年、《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけて 湧く水を汲み出す》より 2023年 撮影：池田晶紀、《誰も知らない山の神さまちゃん》2018年、《逃げる子ども I》2010年、《山のヨナ》より 2018年 作品全て©Arai Ryoji

会期中のイベント

ID 1010157

◆公開制作

時 4月20日(土) 14時～15時30分

場 1階ロビー

内 荒井良二氏による美術館隣の茶室・佐喜知庵に展示する襖絵の制作。

◆荒井良二と物語を汲み出す人

時 5月3日(金・祝) 15時30分～19時30分

内 新作インスタレーションをモチーフに、荒井良二氏と一緒に物語を作るプログラムです。

講 荒井良二氏、宮本武典氏(東京藝術大学准教授)

対 中学生以上

定 25人

※申込方法は美術館HPをご覧ください。

◆学芸員によるギャラリートーク

時 5月9日(木)・23日(木) 14時～14時40分

参加には
入場券が
必要です。

相互割引

■高浜市やきものの里かわら美術館・図書館

「ヤマザキマリの世界展 -世界で生きて、世界を描く-」

時 4月13日(土)～6月30日(日)

¥ 当日券2割引

※企画展「new born 荒井良二」入場券（半券可）の提示必要 ※入場券1枚につき、各館1回1人限り有効
※他の割引との併用不可

■刈谷市歴史博物館

「開館5周年記念企画展 めでたきとり」

時 4月27日(土)～6月9日(日)

¥ 観覧料100円引き